

第 58 回 JIA アーバントリップ見学会の報告

実施日 : 2008 年 11 月 23 日 (水) 雨のち曇り

テーマ : 「生まれる変わる都市～都心における新たなまちづくりのパラダイム」

見学先

1. 赤坂サカス (東京都港区)

説明者 橋津 信義氏 (株式会社 東京放送)、柴田 雄二氏 (三井不動産 株式会社)
三浦 健氏 (株式会社 久米設計)、

2. 政策研究大学院大学 (東京都港区)

説明者 苅谷 邦彦氏、笠木 修氏 (株式会社 山下設計)、
内山 美之氏 (Rogers Stirk Harbour + Partners)

第 58 回コーディネーター 南 知之 (株式会社 石本建築事務所)

半日間のウォーキング・アーバントリップは、小雨混じりのあいにくの天気にもかかわらず、大勢の参加者がはせ参じてくださいました。

今回のアーバントリップは、都心の大規模再開発における新たなまちづくりをテーマとして、赤坂・六本木周辺を見学するもので、赤坂サカスの赤坂 Biz タワーと、政策研究大学院大学を中心に、周辺の六本木ミッドタウン、檜町公園、国立新美術館もウォーキングしながら、街並みとともに見ていこうという企画でした。



赤坂 Biz タワー外観



赤坂 Biz タワー エントランス廻り



赤坂サカス「Sacas 坂」



六本木ミッドタウン



政策研究大学院大学 アトリウム



政策研究大学院大学 低層部屋根

見学後記

今回の見学のテーマは、「生まれる変わる都市～都心における新たなまちづくりのパラダイム」というもので、業務・商業・住居・文化・教育など多様な都市機能を内包する新たな“まち”として形づくられる都心における大規模な再開発においては、さらに近行動スタイルを喚起する広域的なまちづくり、近隣環境や土地の歴史性を視野に入れた開発がなされてきていることに着目し、かつての大規模開発からさらに一歩進んだまちづくりのあり方を徒歩ツアーにより探っていこうという主旨でした。

見学建物のオーナー、施設管理者、設計者の多大なご協力により、この主旨に沿う充実した見学会となりました。

「赤坂サカス」では、15m程の高低差がある敷地の起伏をそのまま生かしながら、サクラを中心とする既存樹木保存による「さくら坂」、「Sacas 広場」、「Sacas 坂」と連続していく外部空間を都心の一等地に現出させていることにやはり驚きます。またこの外部空間が、街の賑わいから静けさまでを包み込む空間構成の核となっているのだと感じました。

赤坂 Biz タワーの最上階から俯瞰する都心の街並みは、小雨に煙っているとはいえ、なかなか素晴らしい景色といえました。また赤坂、六本木、青山、皇居、霞ヶ関などが上から見ると、実に近く感じられるものであるという発見もありました。

Biz タワーの内部はオフィスビルとして、事務室とともに、コア廻り（水廻り、リフレッシュエリアなど）にもきめ細かな配慮がされた設計がされていました。

「政策研究大学院大学」は、外国人建築家らしい明快な空間構成への意志が伝わってくる作品でした。特に低層棟と高層棟のはざまにある巨大なアトリウムは建物の核となる中心であり、迫力を持って私たちに迫ってくる空間でした。

設計者は、建物の躯体、仕上、設備などエレメントを明確にアーティキュレートしながら、それぞれの存在を主張させていき、その上で全体をいくつかのリズムとメロディを奏でる音楽のように統合していこうという意図によって設計しており、見ている側も大変学ぶことの多い建物でした。「秋の日は釣瓶落とし」という言葉通り日が早く落ち、見学の最後が夜にかかってしまったのは大変残念でしたが、説明者、見学者とも熱心に参加していただいた見学会であったことを最後に報告させていただきます。

（記 第 58 回コーディネータ 南 知之／株式会社 石本建築事務所）